

小坂通信

小坂 懸 司(UC、全摘)

世の中、デフレと言われているが本当だろうか。

100円均一ショップやニトリやガストが賑わっている半面、デパートのお歳暮売り場では、上品そうなご婦人たちがホイホイ値の張る物を買っているそうだし、街では目の前をベンツやBMWがバンバン走っている。結局、二極化してきたのではないか。どうもデフレなんかじゃない気がする。日本人の多くは長い間、自分たちを中産階級だと自負してきた。中産階級だなんて古過ぎて今の若い人には死語かも知れないが(笑)。ともあれ、そんな自負はイニシエだ。世の中には、金持ちと貧乏人しかいなくなるということ。高くて上等なものと安くいいものしか売れなくなるということ。食べ物屋は安くても、本当に美味しいところしか生き残れなくなる。残念ながら、日本人の大好きな「中くらい」「真ん中」「普通」が通らなくなる時代に突入したのかも知れない。

さて私、小坂のことだが。今年3月末で技術系派遣社員をクビになった。しかし



40歳のときに「年を取ったら役に立つから」と思って取っておいた電気主任技術者(電験3種)という資格があったので、すぐ経済産業省に(外部委託の電気管理技術者)の認定をもらうべく研修を受けに行った。この研修が大嫌いな真夏にあったから、緊張も手伝って、毎日のように脱水状態になりながら本当にきつかった。聞くところによると、毎回、途中で帰る人もいるらしい。まあ6,600ボルトを点検して回る仕事だから、研修は厳しくてあたり前だろうけど、心身ともに本当にきつかった。

電気主任技術者の仕事は、世間的にちょっと認知度が低い。今までの、制御回路設計の仕事も認知度は低かったけど、さらに低いと思う。だから少しだけここで説明したい。工場・病院・ビル・ファミレスの電気は一般の家と違って、電力会社から6,600ボルトで受電して、それを自家用電気設備で100ボルト・200ボルト・400ボルトに変電して使っている。電気の使用量が多いので、一般家庭と同じように100・200ボルトで受電す

な な か ま だ の 会

事務局： 742-1107 山口県熊毛郡平生町大字曾根2187-3

南 眞治

0820-57-1145

south@mx5.tiki.ne.jp

「クローン病の食事」URL: <http://south.raindrop.jp/ibd/>

ると、どんどん電流が流れて、とんでもない電気代がかかるからだ。詳しい理由は長くなるからここまで。この高圧受電しているところ（事業所）は、毎月、専門家（電気主任技術者）の点検を受けるように法律で義務化されていて、年一回は元から停電させて、総点検（年次点検）を受けなくてはならない。放って置けば、波及事故と言って、周りの家も会社も病院もみんな停電になる事故につながる。手術中の病院がいきなり停電するとどうなるだろう。お客でいっぱいファミレスがいきなり停電するとびっくりだ。大型スーパーが停電すると、冷蔵庫の中が全部腐

って大損害になる。大迷惑だ。だから定期的な点検が必要になる。年末しか休めない会社もあるから、今年の小坂の年末は30日も31日も年次点検のために仕事という悲惨な状態に決まった。なにしろ現役の電気主任技術者は全国で12,000人しかいないから、それが年末も休めない原因だ。18,000人の弁護士より少ない。

電気に少しでも興味がある人は、ぜひ電気主任技術者になってほしい。80歳超えてもやっているお爺ちゃんもいるくらい死ぬまでできますぞ。
(終り)

~~~~~

、 % □

□

南 眞治(CD)

水木しげるのマンガ『昭和史』（8巻、中古）をヤフオクで買って読んでます。しかし、拡大鏡の助けがないと読めなくなりました。「おじさん」と「おにいさん」の違いがここにあります。

新型インフルエンザ 山口県では新型インフルエンザが流行しています。下関地区では一定点（医療機関）当り99人を越え、定点当りの感染者数の県内平均は全国4位となりました。が、しかし、その後インフルエンザの感染者は下がり、ピークを迎えたようです。

インフルエンザのワクチンについて、IBDは特別扱いされませんが、受けている治療方法によっては適用されます。UCではプレドニンを使っている人、白血球除去療

法を受けている人、CDではプレドニン、免疫調節剤、白血球除去、レミケードの治療を受けている人、また、受ける予定の人が対象となります。

私の知り合いと一緒に通院しているUC氏は11月の初旬に新型インフルエンザの予防接種ができることを知らされ、12月22日通院の際に接種しました。

ちなみに私は新型インフルエンザらしきものにかかってしまいました。（検査は陰性、熱が出ない

ので新型インフルエンザではない  
のではないかと言われました)

UCで食事療法 をしている人に出会いました。以前に比べ最近ではUCの食事療法はあまり勧められていません。他の患者会でUCの人に会う機会でも、食事療法をやっているUCの人を知りません。県主催の難病相談会で会ったこの人(男性)は、症状としてはあまり重症ではありませんでしたが、広島市の病院にかかり、その治療で良くなったと話していました。しかし、話を聞いてみると、病院で受けた指導をもとに三食とも、低残さ、低脂肪食、食物繊維の食財を使ったメニューを実践しているようでした。

新型インフルエンザ再び IBD 患者で新型インフルエンザの死亡例がありますかという問合せがありました。現在、国内の死亡例が千人を超えました。IBD ネットワークのメーリングリストでは死亡例についての情報は聞いていません。

就労支援の講演会 11月21日に開催された就労支援の講演会で、ハローワークが難病者の就労支援に乗り出していることを知りました。厚労省が難病の患者の雇用を促進するため「難治性疾患患者雇用開発助成金」を企業に交付することになりました。この制度はまだ今年の3月に始まったばかりなので、利用者が少ないようですが、

「専門援助窓口」で特別支援について尋ねてみて下さい。

医療講演会 医療講演会の最後にQ & Aがあり、他の疾患ながら興味深い例が出ていました。それは、症状が急変した場合、これまでは専門の医療機関に直接搬送してもらっていましたが、最近はどうも他の医療機関に搬送されるようです。

質問した女性は山大病院の前の家に住んでいますが、以前は直接山大病院へ搬送されましたが、現在では市内の他の医療機関に搬送されてしまうそうです。

一般の緊急搬送と比べて、難病者の場合、他の医療機関で容易に治療ができませんし、患者としても、見ず知らずの医療機関で治療を受けるのはとても不安です。緊急搬送の問題はちょっと深刻です。

アサコール 10月16日付でメサラミン製剤が潰瘍性大腸炎で保険適用になりました。ペンタサと同じ有効成分を使っていますが、ペンタサがセルロースコーティングをしているのにたいし、アサコールはアクリルポリマーを使っているので大腸でコーティングが溶けるように設計されています。ペンタサが効かない軽中症の患者さんには良いそうです。主治医・薬剤師さんに尋ねてみて下さい。

(南 眞治)

会員各位

2009年12月20日  
ななかまどの会

## 座談会のお知らせ

新しい年を迎える頃となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

さてこの度、下関地区で座談会(情報交換・相談会)を開催することになりました。

潰瘍性大腸炎・クローン病について、患者とその家族でお互いの体験談など情報交換をしようと思います。どうぞご参加下さい。

### 記

日時 2010年1月24日(日) 13:30~16:00

場所 下関市 勤労福祉会館 クラブ室A

〒750-0001 山口県下関市幸町 1-18

TEL 0832-28-2171

バス JR 下関駅バスターミナル三番のりば北浦(綾羅木、安岡)からバスで唐戸、西の端下車。または田中町下車

JR 下関駅から西の端まで約15分 220円、JR 下関駅から田中町まで15分、220円

駐車場は市役所か、近くの駐車場をお願いします。

連絡先：ななかまどの会(事務局)

742-1107

山口県熊毛郡平生町大字曾根 2187-3

南 眞 治

TEL 0820-57-1145

Email: south@mx5.tiki.ne.jp

